

児童発達支援事業所における自己評価結果(公)

別添資料5

公表：2025年 3月 1日

事業所名 ピース

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		人数に応じて時間を分けて活動等を行う	・構造化を意識し、活動に合わせた環境設定をしていきたい。 ・工夫してスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	7		個別への対応を意識し配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		安全に過ごせるようにしている。	利用児童に合わせた配慮を今後も行っていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		感染症防止対策の一環として随時消毒等を行っている。	定期的な消毒、換気を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		PDCAサイクルを意識するようにしている。	主に半年に1回、目標設定や振り返りを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		保護者から意見を真摯に受け止め改善していく。	アンケート調査結果に対して、改善案などスタッフ間で話し合っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		HPで公開	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7			現在第三者評価はできていない。今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		外部研修への参加	外部研修等への参加回数を増やし資質向上を図ります。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		保護者の方からの要望等を踏まえ作成している。	引き続き子どもの状況を把握し、保護者と情報を共有して子どもと保護者のニーズに合わせた計画書を作成していく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			共通のアセスメントシート用いて状況を把握している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			ガイドラインと照らし合わせ現状の支援内容との整合性を確認していく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			支援計画をスタッフ全員が把握し、共通理解を徹底し支援している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		スタッフ間で検討している。	活動実施後の振り返りを行いより良いプログラムを構築していきたい。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		スタッフ間で検討している。	利用状況を踏まえながら季節を感じられる内容を取り入れ画一化されないように工夫している。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	7			個々の状況を把握しスタッフ間で検討している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	7		ミーティングの実施 情報共有ノートの活用	
	18	6	1	ミーティングの実施 情報共有ノートの活用	
	19	7		業務記録の作成	業務記録を取り、必要に応じて話し合いを行う。
	20	7		モニタリング会議の実施	利用児のモニタリング時期に合わせてモニタリング会議を開催し個別支援計画の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	7		担当者が出席している	
	22	7			必要に応じて連携していく。
	23				
	24				
	25	7			必要に応じて園での生活状況を見学、聞き取り等を行い支援内容の相互理解を図る。
	26	7			問い合わせ等があった場合、保護者の了承を得て情報提供を行っていく。
	27	7		スタッフ研修として取り入れている。	研修会等があった場合は参加しています。
	28	6	1		定期的に児童館や公園を利用し交流する機会を設けています。
	29	7			
	30	7		保護者との情報共有を徹底している。	継続してHUG、SNSを通じてその日の様子、発達の状況をお知らせしていきます。
31	6	1		家族支援を視野に入れ、相談に対応しているが、保護者を指導する立場での支援を行っていない。	
32	7		契約時等に行っている。	契約時に説明しているが、保護者より質問等があれば丁寧に説明していきます。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			契約時、更新時等に説明、、同意を得ている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		随時悩み事について対応している。	送迎時、面談、情報共有システム、SNS、連絡帳等を通じて常に相談できる体制を整えている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1		今後検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			送迎時、面談、情報共有システム、SNS、連絡帳等を通じて常に相談できる体制を整えている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		毎月ピースだよりの発行、HUGシステム、SNS等を活用している	紙面、HUGシステムにて活動予定、活動実施状況を発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		研修会等にて取扱いについて周知している。	研修会等において、個人情報の取扱いについて十分注意するように周知している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		絵カード等を用いて対応	個々の状況に応じた最善の意思疎通方法をスタッフ間で検討している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2		検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		緊急時対応についてはピースだよりに掲載し周知している。	マニュアルの掲示方法を再検討していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		避難訓練の実施	避難計画を作成し、あらゆる災害を想定した訓練を実施していきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		対応マニュアルの作成	契約時や随時、保護者から聞き取りを行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	全利用児のアレルギの把握、スタッフ間での対策の周知	保護者からの情報をもとに、クッキングやおやつ等対応するようにしている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ヒヤリハット報告書作成、周知、改善を定期的に行っている。	ヒヤリハットを見過ごすことなく、些細なことでも報告書を作成し周知している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		県虐待防止研修への参加、事業所内でも研修を行っている。	外部研修等への参加回数を増やし資質向上を図ります。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		身体拘束があり得る場合は事前に保護者へ説明、支援計画に記載している。同意書も得ている。	利用児の心身の状況に応じて様々なケースを想定して共通理解している。現在のところ身体拘束は行ってない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。